

道路防草等対策業務特記仕様書

第1節 総 則

第1条 適 用

この仕様書は市が発注する道路防草等対策業務（以下「業務」という。）の施行に関し適用する。

第2条 通報等

業務施行中に法面の陥没、亀裂等の異常箇所を発見したときは、すみやかにその状況を監督職員に報告するものとする。

第3条 廃棄物の処理

業務施工に伴い発生する空き缶等は適正に処理し、第三者への損害及び公衆に迷惑をかけないようにしなければならない。

第4条 安全教育・研修訓練の実施

業務期間中、月一回（半日）以上実施すること。

第5条 現場での安全確保

- 1 受注者は、業務中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、業務を実施すること。
- 2 設計図書に明示された施工条件と業務現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、業務を実施すること。
- 3 歩行者等の地域住民に対して、十分な安全対策を行うこと。
- 4 作業中、バリケード、セフティコーン、標識等を用い交通の安全を図らなければならない。また交通誘導警備員の指定のある場合（数量計算書等に明記）には、交通誘導警備員を配置して交通の安全を図らなければならない。なお、交通誘導警備員の指定のない箇所において、交通誘導警備員が必要な場合には監督職員と協議すること。
（三重県公共工事共通仕様書 1-1-38 準拠）

第6条 出来高の確認資料

- 1 現場写真は、施工の場所および規模が判別できるものとし、同一位置から業務の着手前、作業中及び完了後撮影したものを業務実施報告書に添付して提出するものとする。
- 2 その他出来高の確認に必要な資料は業務施行の都度正確に記入、整備し、業務実施報告書に添付して提出するものとする。

第7条 作業計画

- 1 原則としてその日の作業区間について、後片付け及び清掃まで完了させる方法で施行するものとする。

《適用条件》

本業務は下記に示す図書を適用及び準用する。

- ・ 三重県公共工事共通仕様書

《提出書類》

- ・ 業務着手届
- ・ 業務計画書
- ・ 実施計画表
- ・ 現場代理人選任通知書
- ・ 建設業退職金共済事業に係る証紙購入状況報告書
- ・ 課税事業者届出書
- ・ 使用材料承認
- ・ 業務実施報告書
- ・ 業務写真
- ・ 完成写真
- ・ 業務委託完成報告書
- ・ その他監督職員の指示するもの